

東播磨フィールドステーション

〒675-0003 兵庫県加古川市神野町神野 690-1

Tel : 080-3799-4906 (柴崎)

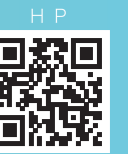
Mail : e-harima@kobe-face.jp

HP : http://e-harima.kobe-face.jp

開室日: 月水木金 9:00-17:00 (原則)

オフィアワー: 毎週木曜 13:00-17:00

最新情報はFacebook ページで発信中



フィールドステーションの利用

ワークショップ&セミナースペース (25人対応)
関連する活動・事業についてのコワーキング利用も検討中です。
※貸しスペース事業は行っていません。

東播磨フィールドステーションの目的

地域のレジリエンスを向上させていくこと

レジリエンスとは? Resilience

環境・状況の変化に適応し、持続発展していくための能力やシステムのこと。強靭さ、復元力、防災力なども訳されます。人口減少や気候変動、不安定な経済環境などに適応する地域の力です。

地域の交流・研究拠点

地域の人々が集い、新しい地域活動やビジネスを生み出す交流拠点であるとともに、様々な機関や専門領域の研究者らが協働し、地域の課題解決や未来創造を進める研究拠点となることを目指しています。

資源管理支援のプロトタイプ

ため池をはじめとする地域資源を保全・活用し、地域の持続的な発展を支えるための中核的な公的支援機関のあり方を模索しています。東播磨フィールドステーションは、そのプロトタイプ(先駆的モデル事業)です。

取り組みの3本柱

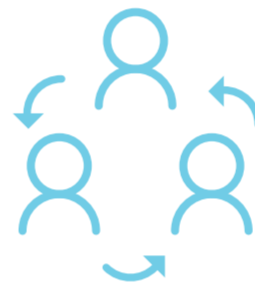
1 環境・経済 エコシステムの構築

東播磨地域にある資源を有効活用し、地域の社会面・経済面・環境面・防災面などを統合した新たなエコシステムを作ります。



2 地域人材の育成とネットワーク

新しい価値を創造し、問題解決を図る人材を育成するとともに、そのネットワークを形成します。



3 地域ナレッジの継承・創造

地域で蓄積されたナレッジ(知識・知恵・知見・情報など)を収集、整理するとともに新たに創造していきます。



開所までの流れ

2015

東播磨地域の悩み

「いなみ野ため池ミュージアムなど、ため池に関する取り組みを長い間やってきたが、これから先どうしていけばいいのだろうか」

東播磨のため池の数
(明石市・福美町・加古川市・高砂市・播磨町)

574 個

東播磨とため池

ため池は、生活や農業を営むために人々の手によって作られ、管理されてきました。しかし、農業の衰退などを背景に、管理が行き届かず、決壊の恐れのあるため池も増加しています。そこで行政は、いなみ野ため池ミュージアム(2002〜)など、農家だけでなく多様な主体の参加を促す取り組みを促してきました。



【参考】いなみ野ため池ミュージアム

2016

共同調査研究 / 東播磨フィールドステーションの構想づくり

東播磨県民局からの相談を受ける形で、3大学の研究者と東播磨県民局が「東播磨・大学連携ユニット」を結成し、共同調査研究を実施。詳しくは、東播磨FSのHPに掲載。

明らかになった課題



技術発展と新しい主体の参加

- ・管理作業の効率化
- ・専門的技術・知恵の管理
- ・新しい主体の参加促進、視野の拡大、啓発



作業と便益に応じた協働体制

- ・管理作業の細かな区分
- ・ため池から受ける便益や作業レベルに応じた協働体制の再構築



個人対応と総合化

- ・個人を対象とした取組の強化
- ・地域づくり活動を上位とした、ため池管理の推進と支援(地域自治施策とため池管理施策の統合)

2018

開所式・連携協定の締結 (6/30)

プロジェクトスタッフ

駐在員 (コーディネーター)



柴崎 浩平
神戸大学大学院農学研究科
特命助教 (農業農村経営学)

ボードメンバー



星野 敏
京都大学大学院農学研究科
教授 (農村計画学)



内平 隆之
兵庫県立大学地域創造機構
教授 (建築学)



中塚 雅也
神戸大学大学院農学研究科
准教授 (農業農村経営学)

研究スタッフ



井筒 耕平
神戸大学学術研究員
(株) sonraku 代表取締役



坂井 柊斗
学生インターン
神戸大学経営学部3年生

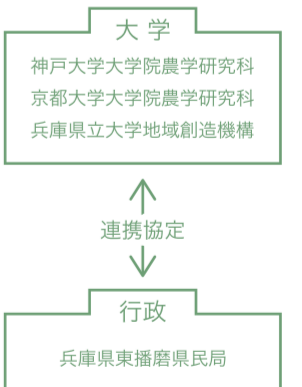


高木 俊一郎
学生インターン
京都大学農学部4年生



濱田 香織
事務補佐員

組織構成



パートナー

<東播磨県民局担当者等>



安國 庫生
兵庫県東播磨県民局地域振興室
水辺地域づくり担当 参与



野村 純数
兵庫県東播磨県民局地域振興室
水辺地域づくり担当 班長



福原 隆泰
いなみ野ため池ミュージアム
運営協議会コーディネーター

<東播磨ため池レジリエンス構築プロジェクト推進検討会>

- 座長 星野 敏 (京都大学大学院農学研究科 教授)
構成員 池本廣希 (いなみ野ため池ミュージアム運営協議会 副会長)
内平隆之 (兵庫県立大学地域創造機構 教授)
住本昌彦 (兵庫県東播磨県民局地域振興室 室長)
中塚雅也 (神戸大学大学院農学研究科 准教授)
野村隆幸 (兵庫南農業協同組合 代表理事専務)

東播磨フィールドステーションへの期待



伊藤 裕文
東播磨県民局長

東播磨は、ため池・川・海の豊かな水辺が身近にあり、コウノトリが舞い降りる自然豊かな地です。この魅力あふれる地で、10~100年後を見据え、元気でワクワクする地域づくりに向けた夢を持ちましょう。そして皆で共有しましょう。皆で思えば夢は実現します。皆さんと夢を語り合うことを楽しみにしています。



池本 廣希

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会 副会長

いなみ野ため池ミュージアムでは、一つ一つ顔の違うため池をウォッチしながら学び、多くの地元の方との出会いがありました。そのメンバーを中心に「ため池カフェ」を開き、ため池の本をつくりました。そして今、地域のレジリエンスを高めるフィールドステーションが開所され、ため池王国東播磨に向けた今後が期待されます。

研究・実践

ため池・地域に関する基礎データの収集と活用

地域づくりをおこなっていくためには、データに基づいた戦略が重要だと考えています。既存のデータの整理に加え、新たなデータを収集し、地図情報システム (GIS) や経済モデルを駆使して分析します。その結果をもとに、政策立案、戦略策定、プロジェクトのスタートアップをサポートしています。

ため池管理者へのアンケート調査でわかったこと

2019.5.21 「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会総会」にて配布・回収。

Q 下の項目は、大きな課題だと思いますか？
(対象：ため池管理者 49名)

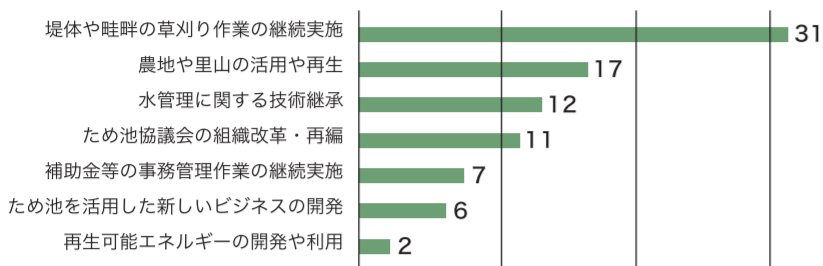


図 ため池管理における課題の大きさと対応の状況

地図情報システム (GIS) を用いた分析の例

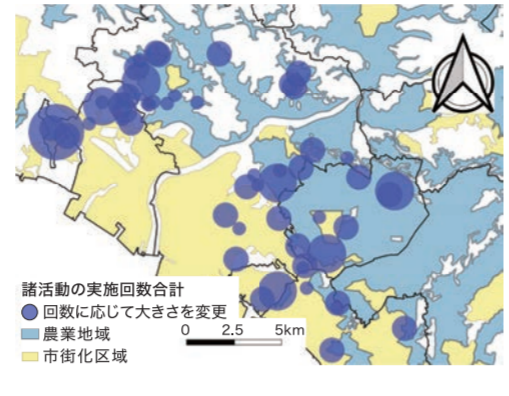


図 ため池ごとにみた文化的活動の回数と分布

* 文化的活動 … クリーンキャンペーンや交流イベント、神事など

里山資源の保全に向けたコミュニティビジネスの創出

ライフスタイルの変化に伴い、管理されなくなった里山も多くみられます。しかし、里山の中には、価値のある資源も多く存在します。そういった資源を活用するための活動を展開・サポートしています。具体的には、山採りした木々を、お店などの植栽として活用するなどの仕組みづくりをおこなっています。 * 山採り：自生している幼木を掘り起こし、他の土地に活着させること

セミナー「山採りビジネス -雑木を売って里山を守る方法とは?-」

11/8@東播磨 FS 参加者 25名

話題提供者：西山雄太 (リビングソイル研究所)



山採りビジネス現地研修会

2/2@ 宍粟市・姫路市 参加者 28名

2/29@ 志方町広尾西 参加者 31名



* 東播磨フィールドステーションの木は、現地研修の際に山採りした木です。



西山 雄太
リビングソイル研究所

木々の樹種や形、大きさなどで価値は大きく異なります。そのため、価値の高い木が判別できるように、引き続き現地研修を開催していきたいと考えています。

里山の木々が、植木として活用できることへの驚きや可能性を感じました。これまでは切ってしまったものもあるが、今後は計画的に管理していけたらと思います。



粕谷 正一
加古川市志方広尾西 ため池管理者

今後の活動について 山採りの木の生産・流通システムの構築 / 山採りサポートコミュニティの設立支援 / 山採りの木のニーズ開拓

草刈りの継続実施に向けたコミュニティづくり

畦やため池の堤体の雑草の管理が大きな地域課題となっています。現状、個人や営農組織といった地域レベルの草刈り、シルバー人材センターなどにみられる広域レベルにおける草刈りサービスがみられますが、それらを補完するようなコミュニティ (「畦師」グループ) を形成していくための活動をおこなっています。

セミナー「草刈り人材の育成 -「畦師」グループをつくりませんか?-」

1/29@東播磨 FS 参加者 34名

話題提供者：木原奈穂子 (神戸大学大学院農学研究科)



畦師の育成に向けた現地研修会

11/8@ 志方町原 参加者 3名 2/23@ 志方町行常 参加者 6名など

原地域づくり協議会との情報交換会

2/22@東播磨 FS 参加者 13名

集落の人達が主体となった組織を結成し、草刈りを中心として、地域資源の管理に関する作業を請け負っていききたいと考えています。



北本 典比古
加古川市志方町原 ため池管理者

セミナーに参加したことがきっかけになり、現地研修会に参加しました。草刈りが楽しくなるような活動をしたいと思っています。



石見 純一
稲美町 兼業農家



今後の活動について 草刈りに関する実態・ニーズ調査 / 「畦師」グループの設立支援 / 「畦師」グループの事務的機能の整備

ため池管理後継者の育成手法の開発

ため池の管理者になつたけど管理方法がよくわからない...ということが実際に起きており、今後もそういった悩みを抱える人は増えていくと予想されます。管理していくために何ができないといけないうか、またどういったツールがあれば、適切に管理できる人材が育成されるのかをワークショップ等を通して検討しています。

これからの水資源管理を考えるワークショップの開催

10/19 @加古川市志方町成井 参加者 17名

管理していくために何ができないといけないうか。その評価基準を地域の水利関係者と作成しました。

表 水管理評価シート (一部)

Table with 4 columns: Evaluation Item, Beginner (10 points), Intermediate (20 points), and Advanced (30 points). Rows include '大雨時の対応', '効率的な水入れ', and '設備の管理'.

成井の「今」を映像に残そうワークショップの開催

3/14@志方町成井 参加者 17名

地域の状況や管理状況がネット上で見えるように、自分達で「ストリートビュー」を作るためのワークショップ。畦や林道などの小道、ため池の水位なども記録・比較できます。



*「Mapillary」で作成されたストリートビュー

「Mapillary」で作成されたストリートビューが閲覧できます。



地域のことを知ろうという熱心な姿勢に感銘を受けました。後継者の育成には時間がかかりますが、引き続き取り組んでいければと思います。



長谷川 正廣
加古川市志方町成井ため池管理者

「ICT×地域課題の解決」をテーマに活動していたなかで、関わりが深まりました。活動を通して、水管理の仕方を映像やデータとしてまとめることができました。



三宅 佑香
加古川市役所 /code for harima

今後の活動について プロジェクトの横展開 / 育成ツールのブラッシュアップ / 新たな育成ツールの開発

再生可能エネルギー活用によるため池保全の検討

本来ため池は様々な形で活用されてきましたが、今日では農業用水・貯水がメインとなっており、市民はその恩恵を感じにくくなっています。近年、ため池の新たな活用方法の一つとして、ため池ソーラーがみられます。ため池ソーラーにはどのような課題や可能性があるのか、関係主体へのヒアリング調査や研究機関と連携を図りながら進めています。

主体ごとにみたため池ソーラーの評価

Table showing evaluation of pond solar panels by stakeholder. Stakeholders include '設置・発電事業者', 'ため池管理組織', '行政', '周辺住民・施設', and '地域全体'. Reasons for evaluation are listed in the '理由' column.

1) パネルの温度上昇を抑制するため発電効率が高い。山の斜面などに比べて設置・管理コストが抑えられる。晴れが多く影も少ないなど

関係者へのヒアリング調査の結果わかったこと

- ① 主体ごとで評価が大きく異なる
- ② エネルギーの地産地消 (日常/非日常) や、地域経営の足がかりになりえるなどの可能性
- ③ 電力やお金の域内 (ため池周辺) 循環を促す必要性

セミナー「ため池の新たなエネルギー活用の可能性 -エネルギーの生み出し方と使い方は?-」

8/19@東播磨 FS 参加者 26名

話題提供者：井筒耕平 (株) sonraku 代表取締役 東播磨 FS スタッフ

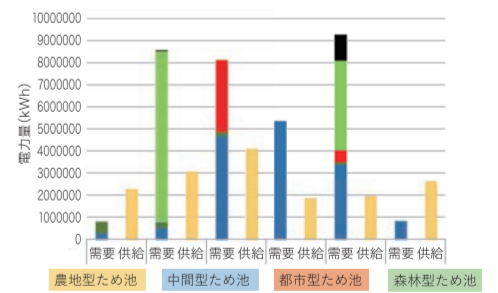


図 ため池ソーラーの電力供給ポテンシャルの比較

今後の活動について 環境への影響に関する調査・研究 / ため池ソーラー事業実施の検討 / 東播磨全域のエネルギーのあり方に関する戦略立案

相談対応

地域資源の管理、地域づくり活動など、地域の発展に資する相談にお応えするとともに、連携事業も進めています。地域住民や企業、行政、大学・研究機関などから、多様な相談が集まっています。

相談件数 のべ 100 件

訪問人数 のべ 1083 人

視察 16 件

(2019.4~2020.3) 1日の平均: 6.5人

研究機関、民間企業、行政機関、地域組織など

研究・実践

ため池管理における市民参画のあり方、ため池の多面的評価、流域の治水機能の評価、ため池ソーラーが環境に与える影響、地域資源管理の計画づくりなど (連携大学: 九州大学、東京農工大学、東洋大学、リズ大学など)

ビジネス

地域資源 (ため池、雑木、大麦、竹など) を活用したビジネス、営農組合の経営改善、新規就農促進、企業の農業参入、農業と福祉の連携、ドローンの活用など

その他

地域活動への参画・場づくり、資源 (ヒト・モノ・カネなど) の紹介、講演など

相談の方法 1 駐在員 (柴崎) への相談 原則毎週木曜 13:00 ~ 17:00

2 ボードメンバー (星野・内平・中塚) への相談 原則毎月第3月曜日 ※必ず事前にアポイントメントをお願いいたします。

フォーラム

2019.12.6 開催 参加者 約 100名

東播磨 FS の活動報告や今後のビジョンの提示だけでなく、東播磨 FS に関連した活動を進める様々な人々が交流する場となる「ため池資源と東播磨の未来 -10年先の地域づくりシステムを考えるフォーラム-」を開催しました。



Program details for the forum, including topics like 'Social Innovation from East-Nagato', 'Activities Report: East-Nagato Field Station Takeover', and 'Presentation on Pond Resource x Business, Regional Vitalization'.